



## 2019年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年4月4日

上場会社名 カネコ種苗株式会社

上場取引所 東

コード番号 1376 URL <http://www.kanekoseeds.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 昌彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役財務部長 (氏名) 長谷 浩克

TEL 027-251-1619

四半期報告書提出予定日 2019年4月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年5月期第3四半期の連結業績(2018年6月1日～2019年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第3四半期	36,241	1.1	518	5.2	602	0.2	398	9.2
2018年5月期第3四半期	35,856	3.2	492	26.3	604	19.1	364	31.6

(注) 包括利益 2019年5月期第3四半期 403百万円 ( 28.9%) 2018年5月期第3四半期 567百万円 ( 18.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第3四半期	33.90	
2018年5月期第3四半期	31.05	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年5月期第3四半期	36,716	18,820	51.3	1,603.18
2018年5月期	44,995	18,722	41.6	1,594.79

(参考) 自己資本 2019年5月期第3四半期 18,820百万円 2018年5月期 18,722百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期		11.00		15.00	26.00
2019年5月期		11.00			
2019年5月期(予想)				15.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年5月期の連結業績予想(2018年6月1日～2019年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	1.5	1,900	8.7	2,000	5.7	1,400	43.1	119.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年5月期3Q	11,772,626 株	2018年5月期	11,772,626 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2019年5月期3Q	33,274 株	2018年5月期	32,522 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年5月期3Q	11,739,694 株	2018年5月期3Q	11,740,770 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年5月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2018年6月1日~2019年2月28日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資が増加基調にあり、戦後最長の景気拡大と言われているものの、その実感に乏しく、また、中国経済減速の顕在化や、再び注目を集めるイギリスのEU離脱問題の日本経済への影響が懸念されることとなっております。

国内農業の状況は、少子高齢化による食料消費の減少や農家の後継者不足等の従前からの課題に加え、夏場には猛暑による農作物の作柄不良や台風の襲来による農業用施設の損壊、秋以降は好天や暖冬により野菜の生育が前倒しで進み、出荷量増加が青果安につながるなど、目まぐるしく状況が変化いたしました。

このような状況のなか当社グループの業績は、主に施設材事業が堅調に推移したことなどから、売上高362億41百万円で前年同期比3億85百万円(1.1%)の増収となりました。利益面では、経常利益は6億2百万円で前年同期比1百万円(0.2%)減の微減となりましたが、営業利益5億18百万円で前年同期比25百万円(5.2%)増、親会社株主に帰属する四半期純利益3億98百万円で前年同期比33百万円(9.2%)増とそれぞれ増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメント区分及び費用の配賦方法を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報) II 当第3四半期連結累計期間 3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

#### 種苗事業

種苗事業においては、野菜種子関係でキャベツの輸出が販売時期のズレ等により減収となったものの、エダマメの国内販売やニンジン等の輸出が堅調で増収となり、牧草種子関係も西日本地区でのイタリアンライグラスや災害復旧向け緑化工事用種苗の販売増などから増収となりました。その反面、今期より種苗事業に統合した造園関係の受注減が響き、売上高52億35百万円で前年同期比2.4%減収となりました。利益面でも、人件費や種子検査費用等の増加により、セグメント利益6億26百万円で前年同期比8.7%減となりました。

#### 花き事業

花き事業においては、家庭園芸用品への国内消費が2018年は前年比5%程度減少するなど需要が低迷するなか、販売先の園芸事業からの撤退、大手チェーン店の統合に伴い販売ルートが他社へ移るなどして、売上高41億12百万円で前年同期比6.6%減収となり、利益面でも、セグメント損失2億96百万円(前年同期のセグメント損失は2億37百万円)で損失は拡大いたしました。

なお、当事業は春に需要期を迎えることに伴い、第4四半期に売上高及び利益が集中的に計上される傾向があります。例年第3四半期まではセグメント利益はマイナスであります。通期では当該マイナスは解消されております。

#### 農材事業

農材事業においては、猛暑により害虫の発生が少なかったことから殺虫剤の販売が低迷したものの、農薬販売会社の寡占化が進むなか一層のシェアアップが図れたことから、土壌消毒剤や茎葉除草剤及び新規薬剤等の販売が増加し、売上高160億67百万円で前年同期比3.0%増収となりました。利益面でも、セグメント利益3億60百万円で前年同期比5.0%増となりました。

#### 施設材事業

施設材事業においては、暖冬に伴い農作物を寒さから守る保温材の販売が減少したものの、度重なる台風により被害を受けた農業用施設の復旧需要や、昨夏の猛暑による遮光・灌水資材の販売増、養液栽培プラント関係においても、輸出や太陽光発電併設プラント、閉鎖型植物工場の大型物件を完工できたこと、さらに温室の完工売上高も増加し、売上高108億26百万円で前年同期比3.2%増収となり、利益面でも、セグメント利益3億45百万円で前年同期比50.6%増となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は、367億16百万円となり、前連結会計年度末と比較して82億79百万円減少いたしました。これは主に、在庫積み増しにより商品が増加したものの、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

また、「負債の部」の残高は、178億95百万円となり、前連結会計年度末と比較して83億77百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

なお、上記の「資産の部」と「負債の部」の残高が、前連結会計年度末と比較して大きく減少する状況は、当社グループの事業が主に第4四半期に繁忙期を迎えることに伴うものであり、每期同様の状況となっております。

「純資産の部」の残高は、188億20百万円となり、前連結会計年度末と比較して微増となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年(平成30年)7月13日の「平成30年5月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,244,625	4,312,074
受取手形及び売掛金	22,369,028	13,867,353
商品	7,169,573	8,419,190
その他	1,543,912	1,165,142
貸倒引当金	△22,081	△14,098
流動資産合計	36,305,059	27,749,662
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,896,134	3,927,953
その他(純額)	2,034,677	2,320,764
有形固定資産合計	5,930,811	6,248,718
無形固定資産	65,344	59,597
投資その他の資産		
その他	2,702,015	2,667,983
貸倒引当金	△7,292	△9,897
投資その他の資産合計	2,694,723	2,658,085
固定資産合計	8,690,879	8,966,402
資産合計	44,995,938	36,716,064
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,137,706	14,540,597
短期借入金	—	882,323
未払法人税等	298,728	5,286
その他	1,129,979	755,273
流動負債合計	24,566,413	16,183,481
固定負債		
退職給付に係る負債	1,465,812	1,471,851
役員退職慰労引当金	120,875	110,850
その他	119,890	129,643
固定負債合計	1,706,578	1,712,344
負債合計	26,272,992	17,895,826
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,765,221	1,765,180
利益剰余金	14,831,844	14,924,619
自己株式	△23,044	△24,198
株主資本合計	18,065,288	18,156,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	857,119	830,901
為替換算調整勘定	△52,912	△45,207
退職給付に係る調整累計額	△146,549	△122,513
その他の包括利益累計額合計	657,657	663,180
非支配株主持分	—	189
純資産合計	18,722,946	18,820,238
負債純資産合計	44,995,938	36,716,064

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)
売上高	35,856,166	36,241,846
売上原価	29,953,233	30,218,286
売上総利益	5,902,932	6,023,560
販売費及び一般管理費	5,410,060	5,505,170
営業利益	492,872	518,389
営業外収益		
受取配当金	25,481	27,968
受取家賃	45,634	47,084
その他	57,017	25,950
営業外収益合計	128,133	101,003
営業外費用		
支払利息	9,653	9,248
為替差損	5,726	6,197
その他	1,462	1,031
営業外費用合計	16,841	16,476
経常利益	604,164	602,916
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6
特別利益合計	—	6
特別損失		
固定資産処分損	43,954	11,453
投資有価証券売却損	3,375	—
特別損失合計	47,330	11,453
税金等調整前四半期純利益	556,834	591,469
法人税等	192,325	193,459
四半期純利益	364,508	398,010
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	364,508	398,010

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)
四半期純利益	364,508	398,010
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	163,208	△26,218
為替換算調整勘定	4,361	7,704
退職給付に係る調整額	35,096	24,036
その他の包括利益合計	202,666	5,522
四半期包括利益	567,174	403,532
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	567,174	403,532
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年6月1日 至2018年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	5,363,286	4,402,827	15,601,343	10,488,710	35,856,166
セグメント間の内部売上高 又は振替高	57,123	510	1,090	2,104	60,827
計	5,420,409	4,403,337	15,602,433	10,490,814	35,916,993
セグメント利益又は損失(△)	686,633	△237,409	342,916	229,355	1,021,495

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,021,495
全社費用(注)	△528,622
四半期連結損益計算書の営業利益	492,872

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2018年6月1日 至2019年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	5,235,707	4,112,153	16,067,132	10,826,853	36,241,846
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60,626	1,155	1	2,759	64,543
計	5,296,333	4,113,308	16,067,133	10,829,613	36,306,389
セグメント利益又は損失(△)	626,977	△296,571	360,090	345,431	1,035,927

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,035,927
全社費用(注)	△517,538
四半期連結損益計算書の営業利益	518,389

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメント区分方法及び費用の配賦方法の見直し)

第1四半期連結会計期間より、緑化工事用種子販売と造園・法面工事等の緑化工事を一体的に考え、営業力向上を目的として、組織変更を行いました。これに伴い、管理区分の見直しを行い、「造園事業」を「種苗事業」に統合いたしました。

これを契機として、セグメント別の損益をより適切に反映させるため、これまで全社費用としていた一部の研究開発費等の一般管理費について、各事業セグメントに対する費用の配賦方法の見直しを行いました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、報告セグメントの新区分及び見直し後の配賦方法に基づいて作成したものを開示しております。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。